

大牟田市立上内小学校

1 本校のESDの特徴

(1) 「持続可能な開発のための教育」のねらい

身近なふるさとの自然や環境との関わりを通して、他の人と積極的に関わりながら環境保全のための実践に取り組む態度を養い、持続可能な社会の担い手を育成する。

(2) 「持続可能な開発のための教育」の推進方針

- 環境教育を基軸とし、地域の自然や人材との共同によるESDを推進する。
- 各教科・特別な教科道徳・総合的な学習の時間・外国語活動・その他の教育活動を有機的に関連させる。
- 児童の体験・体感を重視し、探求や実践を重視する参加型アプローチとなるように努める。
- 活動の場において、児童の自発的な行動を引き出すことができるような体験活動を行う。
- 新たな地域人材の発掘と共同による地域に根ざしたESDを推進する。
- ESDに関する資料を収集・蓄積し、活用を図るとともに、その取り組みを積極的に発信する。

2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

(1) 育てたい能力・態度

- ①批判的に考える力
- ②未来像を予測して計画を立てる力
- ③多面的・総合的に考える力
- ④コミュニケーションを行う力
- ⑤他者と協力する力
- ⑥つながりを尊重する力
- ⑦進んで参加する態度

(2) 学年別の主な活動

- 【1年生】「はるのかみうち」「なつのかみうち」「あきのかみうち」「ふゆのかみうち」〈⑥⑦：生活科〉
- 【2年生】「はるのかみうち」「なつのかみうち」「あきのかみうち」「ふゆのかみうち」〈⑥⑦：生活科〉
- 【3年生】「岡川（汐井川）を調べよう」「上内よかところ見つける隊」〈②③⑥：総合的な学習の時間〉
- 【4年生】「リサイクルについて知り実行しよう」〈③④⑥⑦：総合的な学習の時間〉
- 【5年生】「米作りから学ぼう～上内の米作りの特徴～」〈①②③④⑤⑥⑦：総合的な学習の時間〉
- 【6年生】「米作りから学ぼう～気仙沼とつながる～」〈①②③④⑤⑥⑦：総合的な学習の時間〉

3 特徴的な活動事例

＜第5学年 総合的な学習の時間 単元名「米作りから学ぼう」＞



(1) 目標

○地域の方との米作りを通して、地域の自然や環境に関心を持ち、地域の方の努力や思いを知り、地域への愛着を持つことができる。

(2) 単元構成

- ①社会科で学習したことをもとに、上内校区の米作りの特徴や気仙沼とのつながりについて6年生から聞き、活動の見通しを持つ。
- ②苗作り、田植え、稲刈り、脱穀などを体験する。
- ③上内米の「おいしさ」や「安全性」について調べたことを分かりやすく伝えるためにリーフレット

にまとめ、「上内っ子米」を6年生と協力して販売する。

④「感謝祭」に米作りでお世話になった方を招き、自分たちが調べたことや米作りについて感じたことなどを発表して、学習のまとめをする。

(3) 実際の展開

上内農地水環境委員の方々をお迎えして、5月29日に「稲刈の種まき」を行った。薄いプラスチックの容器に平らに培地を入れ、その上でできるだけ均等になるように稲籾を並べ、水をかける作業である。見た目は簡単そうだが、「結構難しい。」と子どもたちはつぶやいていた。

6月18日、育った稲の苗を植えた。まずは、足に「足袋」をはき、「人間代掻き」が始まった。普段、滅多に田植え前の田んぼに入ることがない子どもたちは、柔らかい泥の感触を楽しみながら、田んぼの土を自分たちの足で軟らかくした。そして、いよいよ「田植え」が始まった。

束になった苗を3～4本ぐらいを1株として、まっすぐ均等に植え付けていった。腰を曲げての作業は子どもたちにとってなかなか大変だったようで「腰が痛い。」とつぶやいている子もいた。

9月19日、いよいよ大きく育った稲穂の「稲刈り」を行った。のこ鎌でけがをしないよう1株1株ていねいに切り取っていった。「昔の人たちは大変だったんだなあ。」と腰を曲げてのきつい作業に昔の人々の大変さを実感できたようだった。

さらに、「安心安全な上内米」について調べたことをリーフレットにまとめた。中には、地域のお米屋さん自ら足を運び、上内米のことを調べた子どもたちもいた。

12月4日、道の駅花ぶらす館で「上内っ子米」の販売を行った。その際、自分たちがつくったリーフレットもいっしょに配布し、上内っ子米のおいしさや安全性などの情報発信をすることができた。

そして、12月13日、今までお世話になった方々をお招きして「感謝祭」を開いた。感謝祭では自分たちが刈り取った稲わらを使って「しめ縄」の作り方を教えていただきながら、わらをよって縄をつくった。なかなかうまくいかず悪戦苦闘しながらも地域の方々の手助けもあり、立派なしめ縄をつくることができた。

その後、羽釜で炊いたお米でつくったおにぎりや給食を招いた方々と一緒に会食し、自分たちが調べたことやこれまでお世話になった感謝の言葉を述べて感謝祭を終えることができた。



【地域の方との田植え稲刈り】



【上内米のリーフレット】



【感謝祭でのしめ縄づくり】

4 本年度の成果と課題

○成果

・それぞれの学年で地域教材を生かして環境教育を中心にE S Dの取り組みをすることができた。その中で、地域の方々の努力や思いを知ることができ、地域への愛着を深めることができた。

○課題

- ・各学年の取り組み内容や単元構成などの見直し・修正。
- ・地域・他校との交流のあり方の工夫。